

平成28年度第3回団体連絡会議事次第

1. 日時：平成28年12月13日（火）14：00～16：00

2. 場所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室

3. 議題

(1) 挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 奥田 慶一郎 14:00～

(2) 講演

・住宅・建築物の省エネ・省CO2施策と支援事業の動向 14:00～14:50

国土交通省 住宅局 住宅生産課 建築環境企画室 企画専門官 福井武夫 様

・民生部門の省エネルギー政策の動向とZEHの普及促進 14:50～15:40

経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課 課長補佐 濱中郁生様

(3) 関係団体・企業からのお知らせ

15:40～15:45

・住宅・都市イノベーション展のご案内

リードエグジビションジャパン株式会社

(4) 建産協からの報告・他

15:45～16:00

・「2016/2017年版 建材・住宅設備統計要覧」発刊のお知らせ

・第2回マンション省エネ改修提案セミナー開催のご案内

・平成28年度 団体連絡会の開催スケジュール

第4回 平成29年 3月22日（水） 14：00～16：00

(配布資料)

団連28-3-1 平成28年度第3回団体連絡会議事次第

団連28-3-2 住宅・建築物の省エネ・省CO2施策と支援事業の動向

団連28-3-3 民生部門の省エネルギー政策の動向とZEHの普及促進

(別紙・別冊)

・第1回住宅・都市イノベーション総合展招待券

リードエグジビションジャパン株式会社

・「2016/2017年版 建材・住宅設備統計要覧」申込書

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

以上

平成28年度第3回団体連絡会開催報告



平成28年12月13日(火)、平成28年度第3回団体連絡会が建産協会議室にて22団体等31名の出席者のもと開催された。まず奥田専務理事による主催者挨拶の後、国土交通省 住宅局住宅生産課建築環境企画室 企画専門官 福井武夫氏からの「住宅・建築物の省エネ・省CO₂ 施策と支援事業の動向」と題する講演と、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部省

エネルギー課 課長補佐 濱中郁生氏からの「民生部門の省エネルギー政策の動向と ZEH の普及促進」と題する講演が行われた。

講題1：住宅・建築物の省エネ・省CO₂施策と支援事業の動向※



講師：国土交通省 住宅局住宅生産課建築環境企画室 企画専門官
福井武夫氏

1. 住宅・建築物分野に係る省エネ・省CO₂ 政策の動向
 - ・「地球温暖化対策計画」と「新しい住生活基本計画」
 - ・省エネ法に基づく規制
 - ・省エネ性能の表示・情報提供
2. 住宅・建築物の省エネ・省CO₂ 支援事業
 - ・融資
 - ・税制優遇措置
 - ・補助

まず、平成28年にそれぞれ閣議決定された「地球温暖化対策計画」の住宅建築物関連部分と「新しい住生活基本計画」の省エネ関連部分の内容に触れた後、省エネの規制施策として、平成27年7月8日公布の「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の概要が述べられ、特に省エネ基準への適合性判定を確認審査と完了検査の両方に連動させるようになったとの説明があった。

次に、省エネの表示施策として、既存建築物が省エネ改修をして基準適合とした場合のアピールとなる「基準適合認定マーク(e マーク)」と新築時の特に優れた省エネ性能をアピールするガイドラインに基づく第三者認証である「BELS」が紹介された。

続いて、住宅・建築物に関する主要な省エネ支援施策の紹介があった。具体的には融資、税制優

遇措置について説明がなされた後、「サステナブル建築物等先導事業」、「地域型住宅グリーン化事業」、「長期優良住宅化リフォーム推進事業」等の補助施策についての情報(平成 29 年度については概算要求額)が提供された。

今後補助施策以外のメリットをしっかりとアピールし、省エネ性能が高いことがいいことである、プラスになることであるということを消費者に認識してもらうことが、住宅・建築物の省エネ化につながると考えているという結びの言葉で終了した。

講演2： 民生部門の省エネルギー政策の動向と ZEH の普及促進*



講師：経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課 課長補佐
濱中郁生氏

1. 長期エネルギー需給見通し
2. 住宅・建築物を取り巻く環境の変化
～建材へのトップランナー基準の導入～
3. ZEH の普及促進
 - ① 事業者の補助 … 建築補助
 - ② 技術者の育成 … 中小工務店等のノウハウ確立
 - ③ 広報 … ZEH の広報・ブランド化
4. ZEH の更なる普及に向けて

まず、長期エネルギー需給の見通しと住宅・建築物の省エネルギーを推進する制度・支援策の枠組みについての説明の後、制度として建材へのトップランナー基準の導入が実施され、住宅・建築物のエネルギー消費量削減に寄与しているとの話があった。

続いて、補助金等による実証、導入支援が行われている ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)について、ZEH を普及させるための方策(ZEH ロードマップ)の中から①事業者の補助、②技術者の育成、③広報の順に説明があった。事業者の補助については、ZEH ビルダー制度が設けられ 11 月時点で 4,000 件弱の登録となっており着実に増加していること、ZEH 普及加速事業において、新たに取り組む ZEH ビルダーが関連する事業については採択審査において加点となること等が紹介された。

技術者の育成については、中小工務店のノウハウ確立のため、住宅の外皮計算、エネルギー計算の習得にむけた講習会が行われていることが紹介された。広報・ブランド化については、ZEH の住み心地、経済的効果、健康改善、ヒートショックリスク低減といったメリットの広報を行うとともに、ZEH ビルダーマーク・ZEH マークを近日中に発表するとの説明がなされた。

最後に、ZEH の補助事業について平成 28 年度予算は不採択が多いという結果であったが、補正予算においてはそういうことがないように運用していくということが強調された。

関係団体・企業からの案内

- ・住宅・都市イノベーション展のご案内 リードエグジビションジャパン株式会社

建産協からの報告・他

- ・「2016/2017年版 建材・住宅設備統計要覧」発刊のお知らせ
- ・第2回マンション省エネ改修提案セミナー開催のご案内
開催日：平成29年2月9日(木)
場 所：すまい・るホール(東京都 文京区)
(詳細は後日ご案内)
- ・平成28年度団体連絡会の開催予定日
第4回 平成29年 3月22日(水) 14:00~16:00